

1. 事業説明シート

事業名	治水事業 [統一級河川整備事業 (国補)]	事業箇所	甲府市大里町地内外	地区名	荒川	事業主体	山梨県						
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 中・長期計画等の位置付け</b>									
<p><b>①課題・背景</b>                      一級河川荒川は、甲府市街地を流下し、笛吹川に注ぐ流域面積A=182.3km<sup>2</sup>、延長48kmの一級河川である。近年における豪雨の激甚化・頻発化により、堤防の決壊等による河川災害が全国的に後を絶たない状況であり、堤防区間の多い本河川においても、こうした状況に備える必要がある。本河川の想定氾濫区域内には、多くの住宅をはじめ、中央自動車道やリニア中央新幹線山梨県駅等の重要施設も含まれており、洪水により被災した場合には住民や経済に多大な影響を与えると考えられることから、早急に堤防強化対策を行う必要がある。</p> <p><b>②整備目標・効果</b></p> <p>□主要目標 ○洪水被害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：1.0 &gt; 0.4以下※</li> <li>・浸水被害又は水防活動の実績：有</li> <li>・想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有 (重要な公共施設：中央自動車道、リニア中央新幹線山梨県駅) ※評価基準値</li> </ul> <p>□副次目標 -</p> <p>□副次効果 ○被災時の被害波及の防止 (中央自動車道(緊急輸送道路)、リニア中央新幹線の保全)</p> <p><b>③目標達成の方法</b>                      荒川における堤防強化対策整備の推進</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山梨県総合計画」 (令和3年改定)</li> <li>・「山梨県強靱化計画」 (令和2年3月改訂)</li> <li>・「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」 (令和3年3月改定)</li> </ul>									
<b>(2) 整備内容</b>				<b>(4) 事業位置図等</b>									
<p><b>①整備内容</b> 堤防強化対策 L=4,900m</p> <p><b>②着手年度</b> 令和5年度 <b>③完成見込年度</b> 令和19年度</p> <p><b>④総事業費</b> 4,200百万円(国費2,100百万円(5/10)県費2,100百万円(5/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費)</p> <table border="0"> <tr> <td>令和5~6年度</td> <td>詳細設計、地質調査</td> <td>100 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7~19年度</td> <td>堤防強化対策</td> <td>4,100 百万円</td> </tr> </table>				令和5~6年度	詳細設計、地質調査	100 百万円	令和7~19年度	堤防強化対策	4,100 百万円				
令和5~6年度	詳細設計、地質調査	100 百万円											
令和7~19年度	堤防強化対策	4,100 百万円											
<p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				<p>出典：地理院地図</p>									
<p><b>⑥既整備内容・期間・事業費</b> なし</p>													

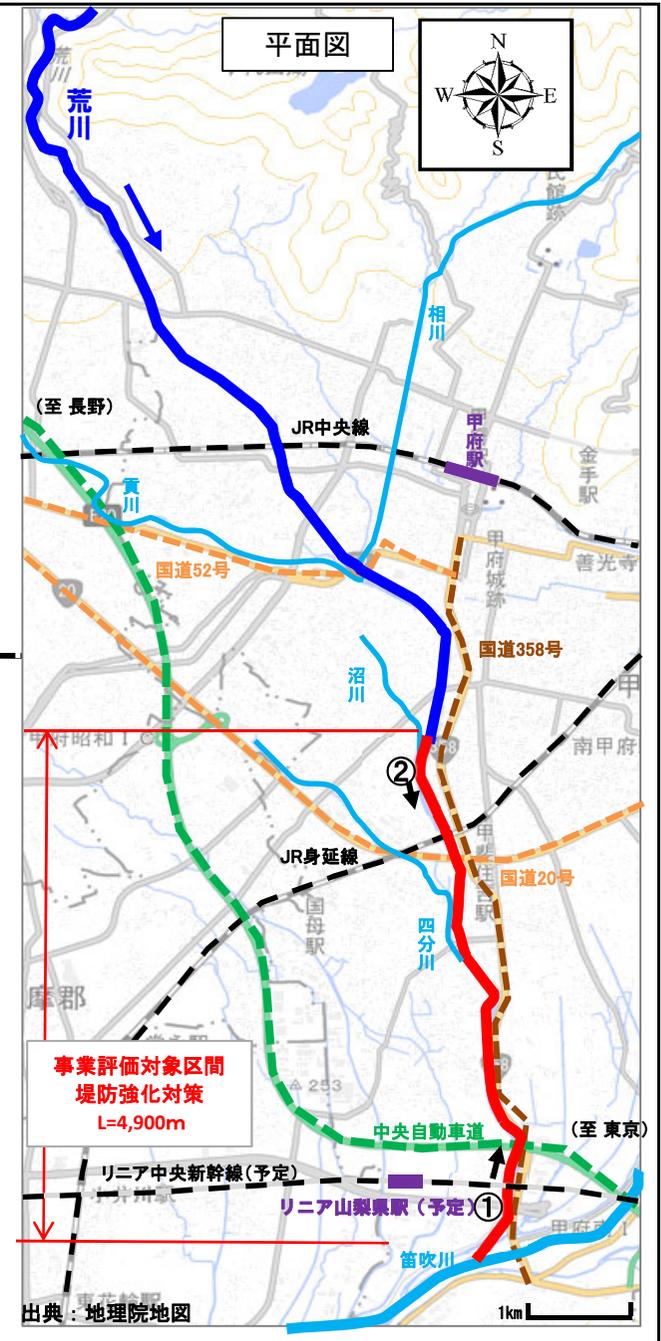
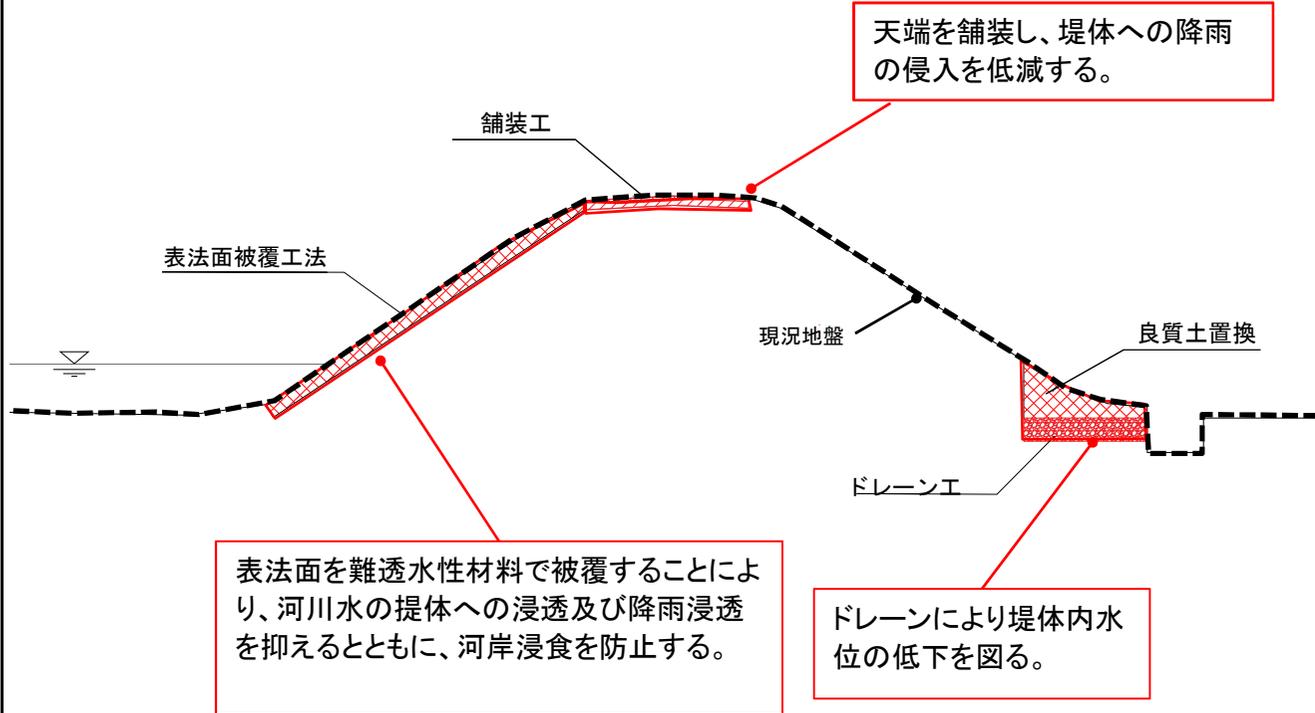
## 2. 評価シート

<p><b>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>河川法第1条及び第9条により、河川の洪水防止を義務づけられている。</p>	<p><b>(5) 整備手法の有効性</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>浸水被害を未然に防止するために有効な手法である。 また、経済性において最も優れた計画である。</p>																																							
<p><b>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か)</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>県管理一級河川 (指定区間) である。</p>	<p><input type="checkbox"/> 他<sup>の</sup>整備手法の有無 <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 有・<input type="radio"/> 無》</span></p> <p>(状況)</p>																																							
<p><b>(3) 経済効率性</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>4,200百万円</td> <td colspan="2">R5~R19</td> <td>基準年</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>3,257百万円</td> <td colspan="2">便益</td> <td colspan="2">16,183百万円</td> </tr> <tr> <td>  建設費</td> <td>3,007百万円</td> <td>一般資産被害防止額</td> <td colspan="3">8,545百万円</td> </tr> <tr> <td>  維持管理費</td> <td>250百万円</td> <td>公共土木施設等被害防止額</td> <td colspan="3">6,378百万円</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="3">1,260百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">輸送道路、リニ</td> <td colspan="5">5.0</td> </tr> </table> <p>※その他は、農作物被害便益、営業停止損失便益、応急対策費用便益</p> <p>費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	総事業費		4,200百万円	R5~R19		基準年	R4	経済効率性	費用	3,257百万円	便益		16,183百万円		建設費	3,007百万円	一般資産被害防止額	8,545百万円			維持管理費	250百万円	公共土木施設等被害防止額	6,378百万円			その他		その他※	1,260百万円			輸送道路、リニ		5.0					<p>なし</p>
総事業費		4,200百万円	R5~R19		基準年	R4																																		
経済効率性	費用	3,257百万円	便益		16,183百万円																																			
	建設費	3,007百万円	一般資産被害防止額	8,545百万円																																				
	維持管理費	250百万円	公共土木施設等被害防止額	6,378百万円																																				
	その他		その他※	1,260百万円																																				
輸送道路、リニ		5.0																																						
<p><b>(4) 事業実施・規模の妥当性</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>近年における豪雨の激甚化・頻発化により、堤防の決壊等に備える必要があり、堤防の浸透破壊等による浸水被害を防止するため、最も効果的な事業内容、規模である。</p>	<p><b>(6) 環境負荷等への配慮</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>埋戻し等は極力現地材を利用し、植生については在来種が生育するよう環境に配慮する。</p>																																							
<p><input type="checkbox"/> 同等施設等 (計画を含む) の有無 <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 有・<input type="radio"/> 無》</span></p> <p>(状況)</p>	<p><b>(7) 事業計画の熟度</b> <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>(理由)</p> <p>地元からの要望があり、熟度は高い。</p>																																							
<p><input type="checkbox"/> 必要整備内容とその根拠</p> <p>(状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備内容：浸透対策工 (表法面の被覆、堤体の遮水、堤内内水位の低下等の対策) 河岸浸食対策工</li> <li>・ 整備内容の根拠：河川堤防の構造検討の手引きに基づき、対策工を検討し、整備区間ごとに経済性に優れた工法を採用</li> </ul>	<p>《<b>総合評価</b>》 <span style="float: right;">《<input checked="" type="radio"/> 妥当・<input type="radio"/> 妥当でない》</span></p> <p>7項目全て妥当と評価されることから実施が妥当と判断する。</p>																																							

### 3. 添付資料シート（1）

#### 堤防標準断面図

※今後の調査・設計により対策工を決める



### 3. 添付資料シート（2）

① 現地状況（堤内地の状況、市街化状況）



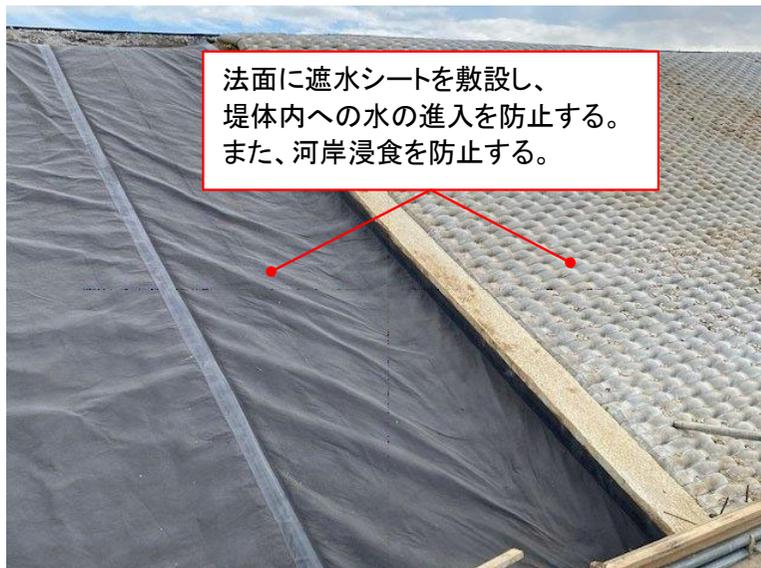
・堤防沿いに国道が通るとともに、市街化が進んでおり、破堤時の被害は甚大になる。

② 現地状況（堤内地の状況、市街化状況）



・堤防が高く、増水時に堤防から水がしみ出しやすい形状のため、堤体内の水の排水が必要。  
・堤防背後は市街化しており、破堤時の被害は甚大になる。

③ 表法面被覆工法の整備イメージ



法面に遮水シートを敷設し、堤体内への水の進入を防止する。また、河岸浸食を防止する。

④ ドレーン工の整備イメージ



堤防の中の水をドレーン工により排出し、堤防の破堤を防止する。